みんなで花を咲かせよう

明石市立二見中学校７３回生　第１学年
学年通信　第７９号
平成３０年９月２０日（木）

体育大会を終えて　　ＰＡＲＴ２

2組（女子）

私はマスゲームが１番思い出に残りました。小学校とは違い、自分たちで考え演出をすることによって、より学年の団結力が深まりました。息が合わないこともあったけれど、できないところはみんなで教えあったりしたから、すてきなマスゲームができたと思います。私のクラスは賞をとることはできなかったけれど、みんなで団結するという大切なことを得ることができたと思います。団結するということを、これからの学級行事・文化祭にも活かし、文化祭では賞をとりたいです。そのために一人一人のことを知り、よりクラスの仲を深めていき、学級目標の「Ｃｈａｌｌｅｎｇｅ」のように新しいことにも挑戦していきたいです。初めての体育大会は成長することができたし、学年・クラスの団結力が深まったのでとても良かったなと思いました。来年もとても楽しみだなと思います。



3組（男子）

ぼくは体育大会からたくさんのことを学びました。その中で大切なことは、どんな時も、どんなことでも一生懸命やる！ということです。その理由は、本番だから一生懸命やる、最初だから一生懸命やる、ということではなく、しんどい練習でも、普段の授業でも一生懸命先生の話を聞く、一生懸命活動をするという決意を持ってチャレンジすると、一生懸命やった努力は必ず自分が成長できるからです。友達が「あの人頑張っているな。」と言って応援してくれたり、その友達も一生懸命頑張ってくれたりして、だんだん輪が広がっていって、今までよりももっと良いクラス・学年になっていくと思います。そしてますます良い学校になっていって、毎日が楽しくなり、今日も頑張ろうという気持ちになっていったら、この体育大会は大成功になるのではないかと思いました。

3組（女子）

体育大会で成長できたと思ったことは２つあります。１つめは『一生懸命やること』です。もちろん、練習の時もみんな一生懸命にしていたけど、本番の時は、自分の演技中だけでなく、応援まで一生懸命していました。また、自分の学年だけではなく、先輩の応援もできていました。また、一人が一生懸命にしていたら、また違う一人も一生懸命して・・・。というように、一生懸命がいろいろな人に伝わっていくのも体育大会の良さかなと思いました。２つめは『我慢すること』です。私たちのクラスは結果が良くありませんでした。たぶん“悔しい”と思った人もいると思います。でも、その“悔しい”気持ちを誰かにぶつけたり「おまえが遅いから」など、誰かを責めたりすることなく、また来年頑張ろうね！と、最後には笑顔で終われたから良かったと思います。これからの学校生活でやっていきたいことは、体育大会で学んだ『一生懸命やること』と『我慢すること』です。体育大会で一生懸命することは大切だなと思ったから、学校生活でも一生懸命したいと思います（勉強や集会時の静と動など）。また、体育大会ではできたのに、終わったらそれができなくなるのもおかしいと思うから、今を我慢して頑張ればと思って頑張りたいです（話を聞くとき、姿勢を正すときなど）。

